

各 位

株式会社八十二長野銀行との包括業務提携 「北アルプス地域共創パートナーシップ」について

株式会社富山第一銀行（頭取 野村 充）は、株式会社八十二長野銀行（頭取 樋代 章平）と包括業務提携を締結し、「北アルプス地域共創パートナーシップ」を発足しましたので、お知らせいたします。

1. 締結日

2026 年 9 月 30 日（水）

2. 本提携の目的

八十二長野銀行が運営主体を務める「じゅうだん会共同版システム」移行決定による事務・システム分野での連携強化を契機に、両行の営業地盤である富山県と長野県が有する高い成長ポテンシャルを活かしながら、両行のネットワークや知見を活用することで、お客さまへのサービス向上を図るとともに、地域企業の成長支援、交流人口の拡大、新産業の創出等に取り組み、地域社会の持続的な発展と新たな価値の創造を目指します。

3. 本提携の名称

本提携の名称は、「北アルプス地域共創パートナーシップ」とします。

4. 連携施策の方向性

- ① じゅうだん会共同版システムへの円滑な移行実現
- ② 北陸・信越をつなぐ広域ネットワークの形成
- ③ 富山県と長野県の経済活性化および地域社会の発展に向けた連携 など

以 上

本件に関するお問合せ先
総合企画部経営企画グループ 堀
(TEL. 076-424-1219)

包括業務提携 北アルプス地域共創パートナーシップ



八十二長野銀行



富山第一銀行

2026年9月30日

目 的 (目指す姿)

富山第一銀行の「じゅうだん会共同版システム」移行決定による事務・システム分野での連携強化を契機に、両行営業地盤である長野県と富山県が有する高い成長ポテンシャルを活かしながら、両行のネットワークや知見を活用することで、お客さまへのサービス向上を図るとともに、地域企業の成長支援、交流人口の拡大、新産業の創出等に取り組み、地域社会の持続的な発展と新たな価値の創造を目指します。

1. 基本的な考え方

**成長ポテンシャルを有する両県を結ぶ広域連携を軸に、
両県の地域未来を共創する持続可能な発展モデルを実現する。**

- ◆ 両行の「経営独立性」および「顧客基盤」を維持しつつ、地域の持続的成長に資する営業連携等に取り組む。
- ◆ じゅうだん会共同版システムを起点とする業務等の連携により生産性向上を図り、経営資源を戦略的に配賦する。
- ◆ 具体的な施策やKPIなどは、今後、設置する両行関連部署による分科会を通じ決定する。

連携の方向性

2. 連携施策の方向性

① <Efficiency> | 経営基盤の強靱化 |

じゅうだん会共同版システムへの円滑な移行実現

② <Growth> | 成長機会の拡大 |

北陸・信越をつなぐ広域ネットワークの形成

③ <Value> | 顧客への提供価値の向上 |

**長野県と富山県の経済活性化および地域社会の発展に向けた連携
など**

2. 長野県と富山県の特徴 / 事業環境

3

北アルプスを介して結ばれる長野県と富山県は、豊かな**自然資本**、精密機械や医薬品をはじめとする高付加価値**産業の集積**、首都圏と日本海側を結ぶ広域**交通ネットワーク**などを強みとし、高い成長ポテンシャルを有しています。

富山県

立山連峰に育まれた豊富で良質な水資源に恵まれ、医薬品や素材産業をはじめとする製造業が集積しています。
また、日本海側の交通・物流拠点として発展してきたほか、北陸新幹線により首都圏との高いアクセス性を有しています。伏木富山港、豊かな食文化、世界的な観光資源など、多彩な地域資源も魅力です。



長野県

日本アルプスに代表される豊かな自然環境に恵まれ、精密機械をはじめとする高度なものづくり産業が集積しています。
また、日本の中央部に位置し、首都圏・中京圏への優れたアクセス性を有しています。冷涼な気候を活かした農業や四季折々の観光資源など、特色ある産業・観光基盤に恵まれています。

| 日本海に面した海岸平野 |

■ 対照的 な地理的特性 ■

| 内陸の盆地・高原地帯 |

| 中京・関西圏 |

■ 異なる 広域商圏との接点 ■

| 関東・中京圏 |

地域が直面する 共通課題

人口減少 / 労働力不足 / 事業承継

地域が 期待する未来

交流人口・関係人口の拡大 / 地域企業の成長力強化 / 次世代産業・事業創出

地域金融機関が果たすべき役割

3. 両行の概要

※ 2026年3月31日現在



八十二長野銀行



富山第一銀行

本店所在地	長野県長野市	富山県富山市
預金残高（単体）	9兆5,685億円	1兆4,298億円
貸出金残高（単体）	6兆7,886億円	1兆597億円
総資産額（連結）	13兆5,544億円	1兆7,015億円
当期純利益（連結）	645億円	150億円
従業員（連結）	4,128人	623人
店舗 （出張所等含む） （BinB店舗含む）	157 長野136、新潟4、群馬2、東京6、大阪1、 愛知1、埼玉5、岐阜1、シンガポール1	66 富山55、石川3、新潟3、東京1、 大阪1、岐阜2、インターネット支店1
グループ会社	13 リース、証券、カード、投資業務、投資運用、 地域商社・電力、債権回収、人材紹介 ほか	5 リース、カード・保証、投資業務、 投資運用、事務受託 ほか

じゅうだん会共同版システムを基盤に、両行の業務等を連携し、
生産性向上とコンサルティング機能強化による収益機会の拡大を図ります。

- ・本資料は情報提供を目的としたものであり、有価証券の売買を勧誘するものではありません。
- ・本資料には将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。
- ・本資料に記載された事項は予告なく修正されることがあります。



八十二長野銀行



富山第一銀行